



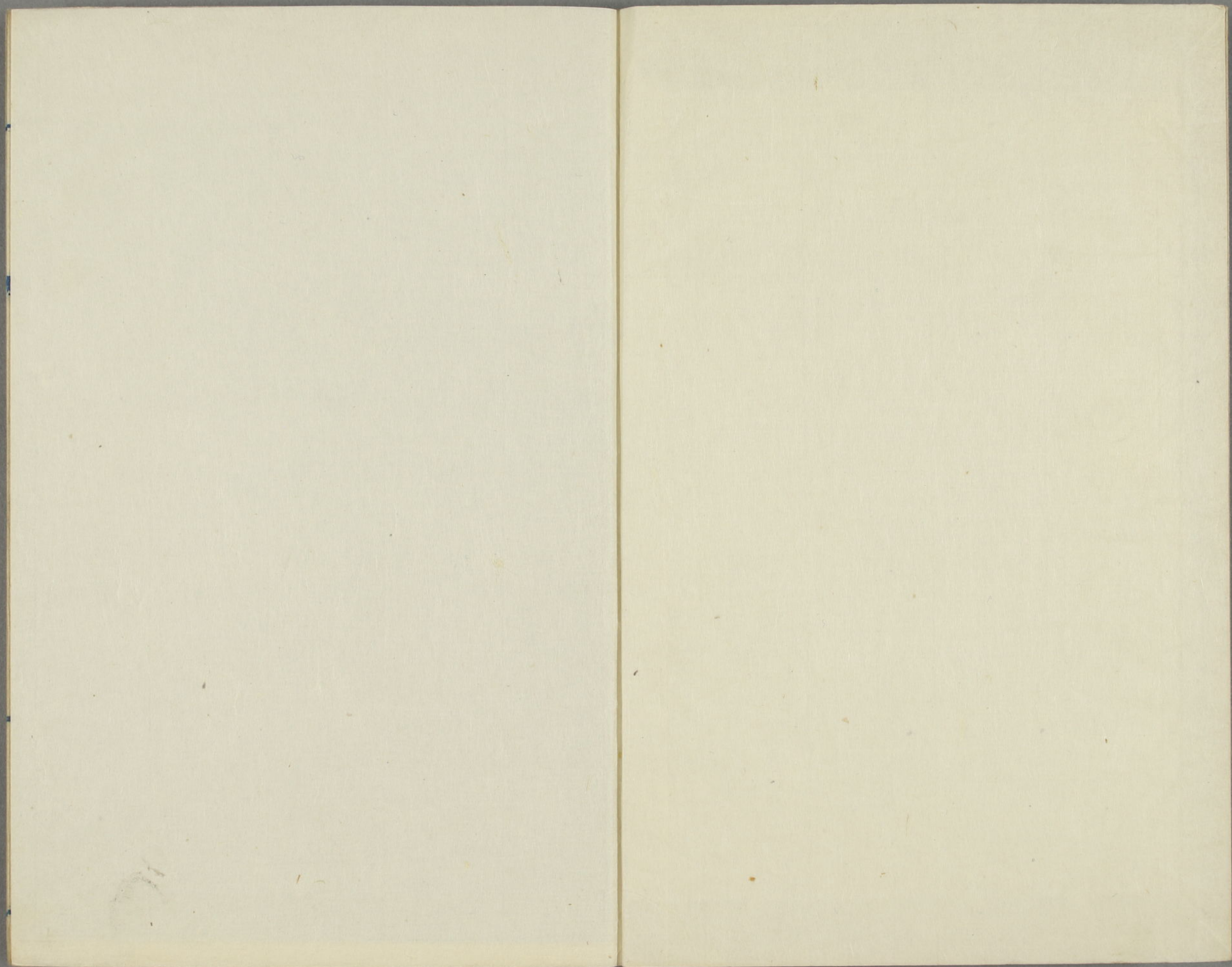
養浩堂日録

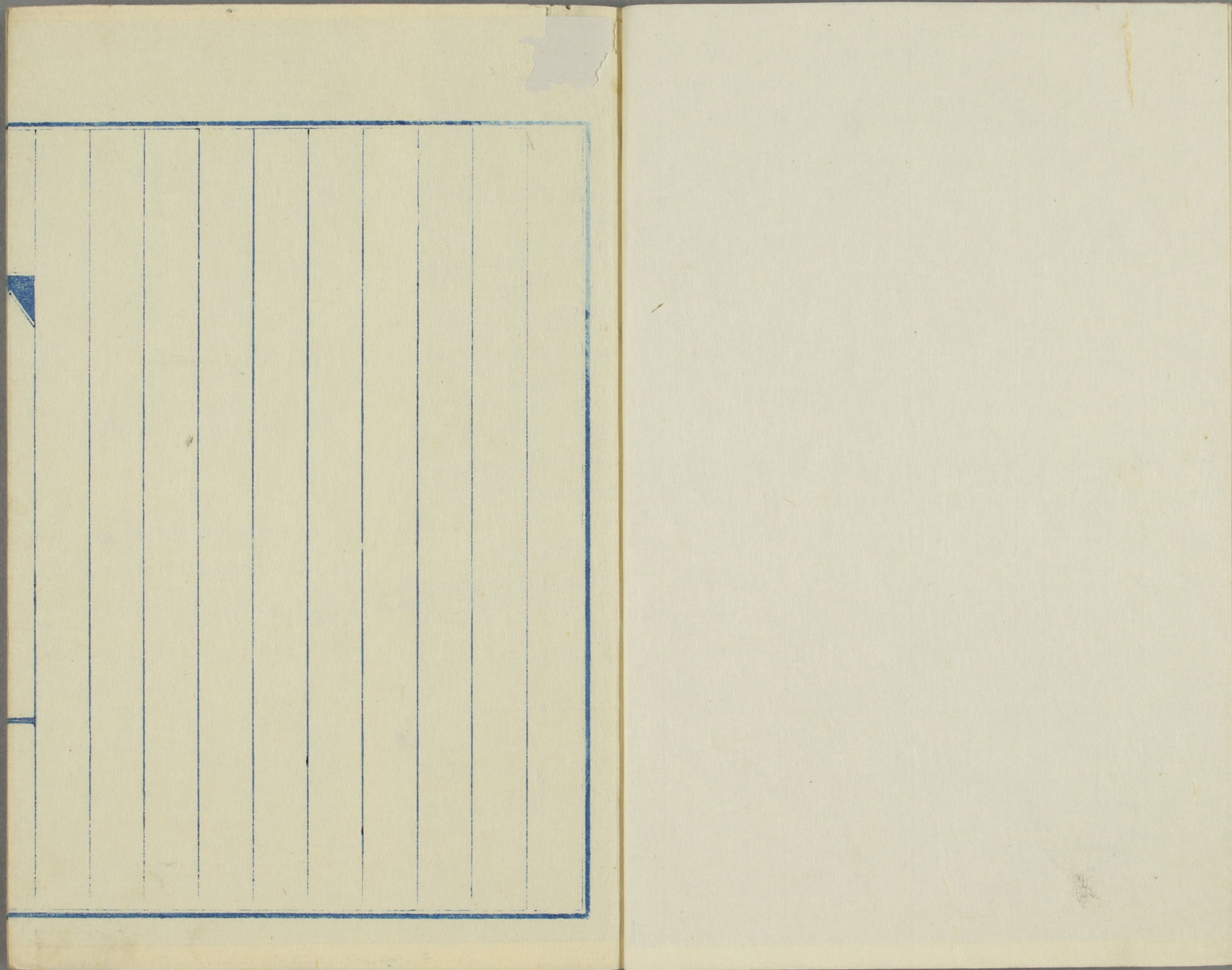
明治六年
癸酉

37

早稲田大学図書館
文書 27
A 42







明治六年

紀元二千五百三十三年
癸酉

一月一日

午前七時參朝拜 天顏

三日

元始祭

四月

政事始在院日出勤

五日

新年宴會於 市前賜酒饌 勅使官

二十三日

孝明天皇例祭

二十九日

神武天皇即位之日於左院賜酒饌

二月

一日

後藤若沢日伴齋之家と勸進業社加入の儀

六日

私紳内閣格費三千五百兩金拵

七日

早曉迄氣安忍心西郷陸軍大輔の儀下條親英

後藤社、脚
前山の殿迄云

大尉有官の採用の儀を托す

八日

後藤の訪北書商社と主事の謀の儀
北書商社
創立の儀

北書商社温林正明来治

九日

芥澤以仿前島駒通頭の連

十日

参院文部部破替弘所の儀
教部
右官月給考の賜儀

午後私塾中井謙准洋切の別算の儀左

院同集會の儀
国体一茶九園の儀

島津家、
遊

十日

右務少輔より森雅格接済の報あり

下村盛後より鴻池了庵中三言の報あり

新島盛より若水亮より水戸

孝島太郎藤倉次郎衛門より身持隨行

北夜中井錢別より大隈板垣あき後儀後三郎

長江藤司佐郷西郷陸軍少補山縣陸軍少補井

上杉藏方輔少野外務少輔土方天史芳川海軍少輔

西國中村接済廣錢真の開は江藤より水

十一日

十二日

早起由利帰朝の儀

五月廿月中出帆六月九日サシラシマに着以地長久保

別二十日間過キホストンより大久保始メ岩倉等へ達

同所十三日滞發大使ハ英國へ向テ發ス七月二十七日ホ

ストン出立英國よりパホールに着ス八月十日より在英四

十日大使同居去り和蘭駝の經獨國伯林へ行ク

伊太利澳斯太利ヲ經過シ三十日廿六日ヨリ費ス佛ノ

パリスより十月下旬頃返職ノ事ヲ聞キ十月四日頃

倫敦ニテ使節ノ達十月十七日倫敦ヲ發シ十

五月廿六日横濱出帆
六月九日未回着
費日二十四日
同日

十六日

若江宅より坂高程、ぼり先、
一、新、
年

十七日

中井送別、為松廣、
後藤板垣、
洋食中井と饑す、
河村と饑す、

其、
人、
と、
美、
以、
務、
の、
事、
多、
し、

後藤、
板垣、
西、
郷、
信、
者、
上、
野、
景、
範、
真、
向、
海、
軍、
大、
臣、
也、
方、
久、
元、
及、
ビ、
ラ、
ウ、
ト、
我、
と、
了、
人、
所、
領、
有、
女、
料、
六、
圓、

以、
報、
後、
藤、
板、
垣、
也、
方、
真、
向、
等、
上、
方、
田、
所、
松、
本、
屋、
守、

松本屋

新野

相模

廿日

伊藤、
方、
四、
郎、
末、
佐、
博、
臣、
等、
詔、
下、
り、
在、
幕、
幕、
後、
藤、
板、
垣、
道、
開、
策、
事、
中、
兼、
リ、
松、
平、
春、
嶽、
伊、
達、
宗、
城、
池、
田、
慶、
徳、
等、
所、
之、
為、
幕、
幕、
諸、
元、
方、
名、
以、
通、
達、
二、
十、
六、
日、
池、
田、
一、
回、
盟、
上、
願、
書、
朝、
廷、
上、
進、
言、
等、
に、
り、
征、
議、

廿六日

二月廿六日

板垣、
参、
議、
り、
訪、
談、
話、

議、
政、
行、
政、
分、
事、

木、
戸、
大、
久、
保、
政、
州、
り、
志、
呼、
南、
事、

坂、
口、
以、
次、
郎、
正、
院、
控、
部、
議、
御、
者、
一、
行、
政、
後、
省、

木戸大保
改業
の
改業
の
改業

偏重を制抑せしむるに妨法有らば違ふ不免制
又正院唯西郷大隈板垣三氏議のみ方以大臣一
人より決するに難き議事あり月々判と押
し之を其弊害抑む可敷き仍るに際正院抗
るべき法に権を握り行政有るに権を抑せざる
正院は然るに物力無一仍るに議政行政
分るに議政は下は國會議院の別を以てし
可止し事柄其を論ずるに殊途は亦た其
の理を論ずるに中越せしむる

二十七日

先年昔年の商社著業社の加入條約書感片相
并副社長に宛てし

深川藏前へ若決定の望を願ふ

以て之を事し中里家より事麻布卸に事

石丸當素中里信素淺見省吾推挙ノ事ヲ許派ノ囑托

麻布卸二千七百六十八両五分此金ヲ積蓄ス可也

二百六十八兩一分、平方、返るべし

九郎ヲ社屋之家より買取り、但利の付中屋借角

スレハ此卸三千五百以上其費可し若此切取存

三月十日

去方大内史、父子招飲伊藤輔。市丸、結成山の
女房、舞好、好名と付、其詠、由、師も来、其政、因、能
才、去方、去、其、年、京師、脱、走、七、卿、日、行、く、時、州、法
院、鐘、之、音、曲、を、奏、す

十二

麻布印、関、四十、日、後、接

十三

同、官、古、給、布、用、地、同、森、保、守、と、電、井、之、(石、山、)
觀、梅、中、車、凡、吹、石、寒、海、運、萬、清、日、登、妓、輩
之、心、情、酌、分、頭、之、面、有、一、来、上、書、文

十四

平、市、乃、弟、余、弟、務、ヲ、誤、ヲ、望、月、也、歎

十五

平、方、乃、弟、務、海、本、林、也、東

十六

板、垣、後、藤、本、林、也、向、島、四、相、屋、館、也、益、也、七、所
泊 田、岳、七、田、所、行、書、也

十七

板、垣、後、藤、為、高、崎、回、歸、行、觀、詔、舞

十八

望月小款

二十四日

青嶽山致開帥函梅招領土方中村津田福郎
伊藤右四郎、丸安之、解防後、片紫木、勸進

二十二日

木林寺平方費、修居寺

二十三日

北澤宅本因森古招飲

二十四日

板垣、集、由利、并、森、古、之、謀、也

明治六年四月日誌

四月三日

大藏省會議五始

十九日

後藤、江藤、大木、奏、議、釋、命

山縣、陸軍、大輔、免、職、結、之、面、但、中、將、如、故

二十日

此節目的之議、之、議

國內有、之、起、事

國會、議、院、之、起、事

四月下
五月上
六月上

八日

左院院定議ノ立違テ伊地知副長トテ知

九日

系院地孫参議ニ建白草案ナラセ

十日

副長ニ至事ニ等々好藤トテ参知トシ中末

十一日

地方官歸縣ニ議ヲ山福島維多リナラ申事
平山板垣書状ニ差出

十二日

板垣系ノ院中ノ事ヲ決テ伊地知リ後藤ノ
書知ラセ臨於安心ニ申事

十三日

朝西郷参議ノ電ニ依リ國會院設立并ニ左院
改定ノ事ヲ決テ至極曰事アリ松又々々
古藏且集一ノ地方長ニ左院院中止ノ事
テ其ノ以不勸令ニ決テ事ニハ左院院
國府ニ事アリ其ノ規則ニ直轄地方
官ニ定テ事アリ左院院ノ事ニ事アリ
ニ如何ノ事ニ決テ事アリ西郷曰ク

西郷参議
宅ニ宿テ
事

副議長 左院議長

十六日

三條大臣より地方長進選議決定

伊地知谷太人より大臣御より地方

行より海防也を演述。三島より訪。品川

行

十七日

無事

十八日

地方より大臣御より地方長進選議決定

十九日

初院口訪

二十日

無事

六月

七日

左院議長職制出奉し下向

八日

副議長より名目有る旨出奉し下向

九日

大藏計算事務裁裁方際より出造

十日

御内少少源幹移之板内お出藏来遊
こま伴る飲中材機本由親規日飲

十一日

右様と申田原成下

環海道程

横濱より 香港へ 一千六百里 太平洋飛脚船より 六日路

香港より カルコッタへ 三千九百里 英國飛脚船より 十四日路

カルコッタより 孟買へ 一千二百里 カルコッタ北印度火輪車より 二日路

孟買より カイロへ 三千六百里 英國飛脚船より 十二日路

カイロより アレキサンドリア 百里 三又掘割 五日路

アレキサンドリアより マルセイルへ 一千八百里 英國飛脚船より 六日路

マルセイルより カレイスへ 六百九十里 巴利行火輪車 三十二時路

カレイスより リウルポールへ 三百二十里 倫敦行火輪車 十一時路

リウルポールより 紐育へ 九三千里 又米國東岸諸港 船脚船 九日路

五年正月

香港

英領

佛領

新嘉坡

錫蘭

英領

西丁

日工

ホルトセツト

九里星

佛領

巴里斯

檳榔嶼

日工

王斯科

粵領

日工

四景園

海地利

伊領

アロレンス

日工

日工

ナパー

日工

龍

日工

新支

日工

日工

干カゴ

日工

日工

湯沼

八月十七日

熱海乃波之為の妻あり大八家婢一人あり新嘉坡

に流津車より孝子といふより福園司法大補一作同尚也

木偶然熱海に行ふ命あり奇事あり

ハ時神を召し到りて人カ車を社に十時止塚

到十三時藤澤海舟午後四時回返つ時孝子車一歩懐に

り雨降り降り暫き可厭七時少雨降り

少海舟のついで大島海旅宿物如夢年一子連正
神也僕多し作大島信年
雙子山前物思佳如運一築西川隈我
從熱海此病去君向蓮端踏雪来
築屋海老島熱海

十八日晴

早より熱海と七星山鉄砲険海岸傍より行
仍り山駕三挺う在石橋山古戰場より直向之し
古跡の心より海上眺望あり江浦小休
吉山寺長福園家族より付

七村熱海より留守屋敷中

熱海東海高南村 檣昨朝堂政務繁得賜
一旬強半 櫻洗新熱海冬无息

十九日晴矣

福園、宿居渡部氏之宅より訪地宅外國人借切
由立阻し亭より高爽、山莊唐刹、築造り色
亭に號し有額

水天一色人凭檻 海嶽千重月入門
福園口付船更 塩田石 鳥居城 古く是處を檢
桶細き、器物より買

二十日晴朝陽

早晚福園家族一日海邊、溪獵網引く大鱗共
二十五枚小鱗多獲り方家分給ら歸寓
今日、佳亭、移住山海、景庭池、趣皆全り
得り

午後福園ら訪り又、馬皮襪買ひ行

二十日曇

今井、庭前、到り温泉、沸騰、觀る
北福園家族、樽對酌十二時、到

二十一日

海濱散步去り天神社に到り小休納涼

福園ら海濱、到り海水浴

北福園作百刀束酒對し福園明ら也去り以
夜露書一刺り福園ら也

二十三日曇

小雨降來福園と船が去り

野帯共白院お供し人思は携り也り身涉作

召し招飲

終日起卧浴職

二十四日午前小雨

蓋暑路堪况故携て温泉寺に到納涼以
境内東山に海の家極佳

書雲箋に買子枚ふ十冊より東京金龜堂
接原の物送納涼に云井上孝八様也

二十五日炎蒸如烹

午前午睡此日炎蒸不可言

芥尺才上事
森奇事、銀愧事

家信一通送子平信あり安心
相作間長上海邊歩行

二十六日午前酷暑

鐵田親信元あ味

眠食ノ外唯沾湯ノ一

津田謙以末信

二十七日雨

午後雨四時、中森澤池邊東におく者其時
来り歌以携を慰む

二十八日快風雨

長崎野原の風雨無節と慰む

此状寝懐り不用素并大八三名と及り
大雨傾天濤聲撼山

二十九日

朝来大雨如瀑

三十日晴

昨日、大雨、少雨、原、河、向、川、為、掃、
砂、上、第、根、出、掃、湯、少、田、原、步、滯、留、
於、湯、泉、寺、多、年、清、泉、と、飲、む
寫、生、屋、主、人、酒、飲、供、
具、此、迄、
諸、勘、定
と、為、中、
二、

三十日晴

於、六、時、及、程、九、時、去、山、山、
三、時、少、田、原、駛、
三、時、
抄、宿、於、早、
七、時、
三、十、分、平、塚、駛、
到、宿、
口、迄、
花、水、抄、
の、偶、作
西、朝、氣、銷、沈、山、色、遠、方、磯、
平、塚、晚、蕭、

明眸皓齒、
今安在、
風雨、
空、
過、
花、
水、
橋、

九月一日晴且雨

六、時、出、協、孝、程、馬、入、川、
無、滯、海、船、
藤、澤、舟、
七、
時、
多、
忠、
族、
一、
日、
廿、
九、
十、時、
戶、
塚、
子、
餐、
三、
時、
神、
女、
川、
海、
車、
一、
乘、
北、
村、
馬、
車、
出、
十、
時、
四、
時、
歸、
宅、

二日

八、時、出、勤、市、中、
相、房、
之、
副、
長、
事、
議、
森、
寺、
余、
來、
伊、
地、
知、
大、
臣、
上、
系、
上、
書、
州、
邊、
要、
家、
物、
屋、
來、
子、
梅、
乃、
子、
也、
系、
系、

田利より訪詰相柳橋相模屋領也

三日

朝板恒彦儀より十時出勤御前御裁下矣

四日

惣裁出勤

五日

系院北村フリニ西園花より針田屋領也

六日

西園高島安川等より訪儀官洋行より
無滞帰朝。今日より大々得所遊

丑年正月二十
七日横濱出帆
六年九月六
日帰朝

七日

八日

九日

洋行帰朝。訪儀官より方院出勤

十日 海日田村より連。海川町本町より海日

十一日 吉村氏来

方院退下より黒田開拓官の海日町より
開拓地。西海西の熟味より池邊より
御前より里海。方院より其より方院より
方院より方院より方院より方院より

子孫大藏、弊を挽きて、昔の改革とあり、却
る根本、其害を生きて、終四體分離、物とあり、
多し、形物、立つ、何のせみ、子孫を
下し、自然、然る、針路、名、得る、
勝、習慣、海、別、島、印、名、海、
古院、形況

古院、後、後、官、帰、
十月、乃、地方、官、層、儀、
砂、江、藤、大、舊、及、我、海、
情、田、

後、三十日、

明治六年九月

九月十六日晴

左院、休暇。馬車、馬、取、換、
損、有、之、遣、入、六、日、限、
後、藤、見、舞、横、濱、
西、國、園、月、身、
近、伊、藤、武、
十七日、晴、神、宮、新、嘗、祭、休、暇、
江、藤、参、議、来、
覽、入、巢、十、午、
十八日、雨、
左、院、出、勤、
昨日、森、孝、
来

江、藤、司、法、
長、快、別、
舟、江、藤、
西、國、園、
上、岸、
中、延、
海、
冠、
尚、在、目、

モ、
月、

名、
大、改革、

十九日

高崎藩に於て、機務の
談。谷致臣へ熱治法治節派書ヲシテ
世話ヤリシ者、菓ヲ贈シ。青柳尚賢ヨリ
代賀縣到着ノ報書來。高崎正風四時
來話及夜歐州ノ事情ヲ説。芥沢來話
田利牧牛社ノ事ヲ説。官禄ヲ受取
二十日晴毒熱

五院ハ出勤。皇子而降誕。早世ニ付
皇宮へ天機同候。高崎正風ヲ訪
佛國ヲ調ヒシ大禮服ヲ見ル者、三ツテ
山國ノ大兵。利義。西行ヲ談ス
江藤参議ヲ訪ヒ談ス。名利ヲ訪ス者
芥沢名藤ヨリ書翰來。本林寺へ來遊ス
者之

二十一日

河川材木屋へ舟島ヲ遣ス。池田三藏來
長徳森寺ヲ訪不遂。名利へ茶五石厚幣
ヲ送シ。平島ヲ訪ヒ亦見。雨下條橋崎。會ス
夜老公來飲。香坂ト來

無名、命ヲ送リシ所

坂垣田利、日藤、森寺、海村、名利

二十二日雨

朝芥沢ヨリ高崎本田申居ニ趣申來ル。七ツ月

古館藩より向ふノ催任状来レ

二十六日休職

入澤 齋藤中里高橋入来ノ齋藤金
十ノ圓借入中里ノ四圓ノ惠ハ草川房来泊

二十七日

参朝。森守ノ古館参入。伊藤祐忠
来。廻思安木橋ノ舟店ニ飲大泣来

二十八日

参院。度量衡ノ會議アリ。芥沢
額田来話。應天ノ對酌。片桐来

二十九日雨

大禮服仕立ノ為ニ宮川ヲ呼之リ来

伊勢方勝、竊而ウカス。洋書三枚来ス

所汚不采ノ由ヲ三申セ来ス

洋書三枚来。川議官。洋行ノム

立座トシテ贈リ呉ル事

此日横濱演。葉々来。談話不調

三十日晴

参朝。参院。不采。参院。参院。参院

大伴十秋。小野在好。奥羽。参院。参院

参院。参院。参院。参院。参院。参院

参院。参院。参院。参院。参院。参院

参院。参院。参院。参院。参院。参院

参院。参院。参院。参院。参院。参院

置徳植念
義臣ニシテ

林... 麻帥今日... 之際...

十月一日雨

本所森下町三丁目箱...

多部... 金... 老... 義...

夜... 函... 秋... 議... 義... 非...

可致... 政... 地... 右... 如何...

錯... 勢... 病... 治... 歸... 十月二日...

十月八日... 入校... 致...

大給... 傳... 船... 形... 事... 時...

今日... 出... 木... 事... 身...

不... 中... 見... 事... 院... 取... 事... 板... 海...

十... 正... 院... 確... 信... 大... 事... 木... 事... 事...

三日... 参... 院... 高... 山... 本... 事... 論... 後... 藤... 院... 云...

り... 談... の... 裁... の... 達... 而... 何... 談...

鳥井... 法... 息... 寺... 橋... 茶... 店... 栄... 寺... 義... 臣... 母...



信傳 日

信傳の来りては

澤成を食取之義は

義備促に為る来りて

八日

朝前後縁に

義評判帰に

夜寺島に

三車に渡りて

九日

不來に

出掛の家

吊り

寺島麻布

家より

多し部

相新田

六日

十日

系院

晩景

相新田

七日

七日

麻即り
渡り

六日(道)

家族一統親割の格老の来り

本藩の東岩原大久保等(周延家)の来り

安徳の御和(一層)の義の来り

三時より親割入取。信正殿より先河津

十二日 年院の古名國御おる事(本藩)の来り

年院修禊の和身事振當り(本藩)の来り

大久保の御和(見)の来り(本藩)の来り

内務の御和(見)の来り(本藩)の来り

申利の御和(見)の来り(本藩)の来り

お陰(大久保)の来り

相違(本藩)の来り(本藩)の来り

おの(異見)の来り(本藩)の来り

おの(異見)の来り

十日(本藩)の来り(本藩)の来り

年院(本藩)の来り(本藩)の来り

おの(異見)の来り

おの(異見)の来り(本藩)の来り

おの(異見)の来り(本藩)の来り

おの(異見)の来り

大久保(本藩)の来り(本藩)の来り

内國(本藩)の来り(本藩)の来り

おの(異見)の来り(本藩)の来り

おの(異見)の来り(本藩)の来り

七日 征韓 論始

寺島 論始

十三日

女西日八
正體
大議論
有之是
西野
内端
儀相

十日

後藤の子之為同軍の時勝り後々進ん

子之甥を棄て

多院の如くは臨時裁判を以て用て院

正院の如くは有るに成る事據るの拒利

衆の如くは有る陳了は下大判事共據り

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

昭の内閣の儀に於て

大政大臣
逆上頭

此は備前西郡... 三條公... 此は無理なり

天皇御前... 征韓... 不為... 西郷... 征韓... 不為... 表...

西郷... 征韓... 不為... 表...

正院... 征韓... 不為... 表...

二十七日... 征韓... 不為... 表...

大禮... 征韓... 不為... 表...

征韓... 不為... 表...

大久保... 征韓... 不為... 表...

鹿角儀の地云々として海邊に在る大久保
島に病の者あり十有八と云々と相傳へ
伝法寺儀或は神主或は引籠寺の尼僧と
相傳へ付地に在る征韓の論を云ふし
物相傳へて使直島相傳へて一也云々
是地の一也云々

三條

西郷

板垣

黒田

岩尾

大久保

大隈

大木副島江藤

年々の

木戸

後藤

百半) 相傳へて海邊に在る大久保
後藤江藤の副島を傳へて事案と
漢字譯ししめて外國の事案を云ふ
何れ相傳へて譯する事案を云ふ
傳へて西郷の辭表を云ふ
縣の事案を云ふ
大中小地大尉の事案を云ふ
轉を傳へて事案を云ふ
傳へて事案を云ふ
内務省の事案を云ふ
三條の事案を云ふ
岩尾の事案を云ふ

病の依りし者、倉代理と申しよむ心や、大久保の向論、
征韓奇しり、論、或るまじり、諸参議、辞表、否、義、
根元、否、否、論、大、事、九、御、と、あ、ま、し、
岩、底、り、茶、公、辞、表、り、觀、つ、又、ハ、木、戸、ハ、私、定、三、死、了、大、故、
り、可、聽、者、何、足、ア、リ、レ、カ、シ、

右、ホ、形、勢、ニ、ハ、内、廷、客、易、チ、ガ、ル、湯、騰、り、

暫、時、九、院、へ、参、り、テ、朝、伊、丹、西、田、西、氏、ノ、後、藤、向、ヒ、レ、
答、辭、ノ、聞、り、

三、条、公、ハ、五、見、舞、平、先、ハ、復、シ、ヨ、シ、日、人、ヤ、ツ、リ、

目、黒、新、兵、衛、脚、病、ノ、於、子、山、石、代、侍、醫、リ、頼、キ、レ、我、
驥、シ、シ、宿、屋、見、舞、

皇、帝、ハ、行、幸、シ、テ、出、逢、馬、車、ノ、下、リ、立、テ、ラ、最、敬、禮、シ、

行、ノ、終、日、大、政、官、ハ、出、給、サ、ヤ、レ、シ、

勝、海、軍、大、輔、一、所、ノ、横、濱、出、立、り、帰、府、今、十、時、還、

服、由、田、ノ、ヨ、シ、足、テ、奏、議、イ、ウ、ン、カ、

以、前、中、前、議、之、シ、テ、リ、諸、参、議、ノ、進、退、り、議、セ、ラ、レ、シ、

先、明、日、ノ、波、瀾、り、見、ン、ト、留、葉、

近、赤、丸、来、説、勝、ノ、在、韓、不、因、急、也、リ、決、テ、論、

西、御、ノ、抑、制、ス、ル、ハ、實、難、シ、ト、ナ、リ、

廿六日雨

終、日、在、家、晚、来、淺、井、議、官、来、詰、昨、日、カ、四、時、

皇、帝、大、政、官、ハ、臨、幸、陞、點、左、ノ、通、

願、之、通、免、本、官、

奏、議、後、藤、象、節、

全、

参、儀、板、垣、退、助、

勝、
横、濱、
西、御、
英、
鋒、
遊、り、

全

全

参議江蘇新平

参議副島種臣

西鄉隆盛

頼ノ通参議并近衛

都督殿御 陸軍大将故云

任参議海軍卿兼勤

海軍大輔勝安芳

任参議外務卿兼勤

侍命全權後寺島隆藏

任参議工部卿兼勤

工部輔 伊藤俊助

司法卿兼勤

参議大木喬任

大藏卿兼勤

参議大隈重信

北節 木戸ハ病氣不参云云大久保一人扱多

岩倉公大政大臣代理云云魁傑、お成り

大木真際、周旋云云

廿七日同前云

○ 此後始終、建西海内務省、云々、(云々)

参議副島種臣

岩倉公大政大臣代理云云魁傑、お成り

北節 木戸ハ病氣不参云云大久保一人扱多

岩倉公大政大臣代理云云魁傑、お成り

参議副島種臣

海軍大輔勝安芳

工部輔 伊藤俊助

参議大隈重信

参議大木喬任

廿八日

奏任、新大禮
服、廿三番、
朱、
縫、裁、五、十、番、
飾、帳、銀、七、
宮、川、十、
伊、知、和、倉、
岩、倉、公、(朱)

楊、濱、り、幸、之、着、此、之、し、大、禮、時、一、新、創、
看

三、十、百、

宗、院、○、伊、母、重、實、議、長、代、理、宗、院、事、
此、因、來、往、之、儀、一、年、清、田、出、合、个、事、任、宗、十、
新、創、之、禮、杯、致、多、事、与、多、一、酌、何、中、之、
宗、良、宗、等、其、个、之、事、亦、放、宗、院、之、可、防、十、時、均、
青、下、并、此、如、君、

午、前、御、中、之、儀、望、之、指、拜、一、并、如、前、宗、
宗、之、儀、同、行、儀、并、之、天、神、一、并、柳、島、御、中、
宗、之、儀、与、地、御、野、是、之、見、目、一、并、宗、之、
宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、

二、日、美、晴、

大、禮、服、之、在、院、持、年、衆、人、亦、
伊、地、知、兵、不、多、之、事、也、以、之、大、以、傳、説、説、之、
宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、

宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、
宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、
宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、

宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、
宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、
宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、

宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、
宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、
宗、之、儀、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、宗、之、儀、

○、淺、野、御、座、大、
此、時、御、座、
北、長、屋、
元、浪、崎、
德、補、理、
三、任、居、

皇朝
魏志
古今
三言
音曲

廣府府城... 魏志... 古今... 三言... 音曲

十方...

東長... 魏志... 古今... 三言... 音曲

十方...

東長... 魏志... 古今... 三言... 音曲

十方...

東長...

十方...

東長
魏志
古今
三言
音曲

東長... 魏志... 古今... 三言... 音曲

十方...

東長... 魏志... 古今... 三言... 音曲

十方...

東長... 魏志... 古今... 三言... 音曲

十方...

東長...

十方...

東長... 魏志... 古今... 三言... 音曲

十方...

扇橋、大六、
遊、著、
取、寄、
苗、見、

船橋、
動、
信、
未、
見、

二十三日

新、
五、

二、
橋、

橋、

二十四日

早、

来、
某、
曰、
金、
二、

系、
和、
三、
不、
二、

少、

勝、
在、

二十七日。夜所著家

東院民法編纂婚嫁部層成下段の法則
課三人来ん

毛利森の赤藤為成其の招に好漢性
経に形勢便アリ

恒魁の遺書

二十八日

東院民法編纂

東院民法編纂の事了り新編より次共し
東院民法編纂の事了り

二十九日

東院民法編纂の事了り

三十日

東院民法編纂の事了り
東院民法編纂の事了り
東院民法編纂の事了り
東院民法編纂の事了り

高崎正良の遺書

高崎正良の遺書
高崎正良の遺書

高崎正良の遺書
高崎正良の遺書

高崎正良の遺書
高崎正良の遺書

夜五月以来ノ節内新聞ノ算用致事寺島口遊

土音相方本事ノ後若下木下砂上孝火

平勢能恒隆十

十七日

朝陽月引ハシ。不兼道兼共立高内孫。御高

其下平家ハ足舞。牛ノ能先ニ大成者。御高。御高

立下

十八日

十九日

二十日

二十一日

二十二日

二十三日

二十四日

二十五日

二十六日

二十七日

二十八日

二十九日

三十日

三十一日

五洲ノ人ノ轉ノ成ノ好ノ様

蔵文ノ好ノ様ノ成ノ好ノ様

初出縣考事山香成書六月廿六日
認之去頭考案此日見制以舟修考
制也此係考三月九日在福衛平
分析 上於家境切

銀壹貫日 純金 三十兩
銀 八百兩 鉛銅 百七十兩

百七十貫日 銀兩 二萬六千八百圓

道後府依賴之起事一上稿

土月十二日下書有日
清道亦幸職之長青欣也

死身乃在休念下
願之義後藤先生之依賴
力有歎友拓方由
高知縣士山崎
開鑛之初書可
交於今度海内之鑛物
開免許之換取
極め得之必中
此有者能出之時
少在の全神工部省
外國人之點檢

編集八

